

執筆者紹介

鯨坂 学

同志社大学社会学部 名誉教授

小林 久高

同志社大学社会学部 教授

秋庭 裕

大阪府立大学現代システム科学域 教授

逢 軍

びわこ学院大学教育福祉学部 教授

河口 充勇

帝塚山大学文学部 教授

藤本 昌代

同志社大学社会学部 教授

板垣 竜太

同志社大学社会学部 教授

尾嶋 史章

同志社大学社会学部 教授

立木 茂雄

同志社大学社会学部 教授

鶴飼 孝造

同志社大学社会学部 教授

『同志社社会学研究』編集規定

- 【1】本研究誌は同志社社会学研究学会の機関紙として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
- 【2】掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
- 研究論文（40～60枚）
 - 研究ノート（20～30枚）
 - 書評
 - その他
- 【3】編集委員は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生の代表により構成される。専門委員は本学社会学科教員より構成される。
- 【4】投稿者は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生とする。
- 【5】原稿は書籍、学術雑誌に未発表のものに限る。掲載の可否は、専門委員の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
- 【6】原稿の締め切りは12月末、発行は3月とする。投稿者は10月末までに専門委員1名に草稿を送付するとともに投稿の意思を伝え、12月末までに当該専門委員に最終原稿を送付しなくてはならない。
- 【7】執筆要領
- 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌『社会学評論』に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
- 【8】提出原稿の形式
- 原稿には日本語と英文タイトルをつけ、ハードコピー（40字×40行）と電子媒体で提出すること。
- 【9】執筆者の原稿は、同志社大学ホームページ上の「同志社大学学術リポジトリ」上に公開することを原則とする。
- 【付記】
- その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

（2009. 7. 26 改正）

◆ 研究室だより ◆

昨年9月に助教（有期）として、マティアス・ヴァンオメン（Mattias van Ommen）先生がスタッフに加わっていただきました。ヴァンオメン先生は、オランダのライデン大学日本学科を卒業され、ハワイ大学（マノア校）で人類学の博士課程を修了後、ハーバード大学ライシャワー日本研究所フェローを経て、本学に着任されました。日本でのフィールドワーク経験も豊富で、学校での「部活」やゲーム文化について論文を発表されています。これから私たちにたくさんの刺激を与えてくださることを楽しみにしています。

さて、2021年度から、藤本昌代先生を中心に社会学研究科（社会学部）の執行部がスタートし、この1年は学科主任を森千香子先生、大学院専攻主任を尾嶋史章先生がつとめられました。コロナ禍も2年目となり本学にも大きな変化が起こっていますが、2022年度からは対面授業に戻しつつ、加えてどのようにオンライン・デジタル教育の充実をはかるか模索が続きそうです。この困難な状況でも学部と大学院ともに志願者は順調に増えつつあり、本学会の皆様のご支援をお願いいたします。

本号には名誉教授の鯨坂学先生と、小林久高先生からそれぞれ論考をいただきました。また、前号で予告していました森川眞規雄先生追悼特集には多くの玉稿をお寄せいただき本当にありがとうございました。「いらんことするな！」と森川先生のこわい顔が思い出されますが、お弟子さんたちがそれぞれの立場から森川先生の学風をしっかり受け継いでおられるのを見て、きっと喜んでおられることと思います。秋庭裕先生、河口充勇先生、パンジュイン先生（森川先生の生前のお写真もありがとうございました！）にはこの場をお借りして重ねて感謝申し上げます。

（鵜飼孝造）

◆ 編集委員 ◆

鷓飼 孝造 (同志社大学社会学部)

轡田 竜蔵 (同志社大学社会学部)

福間 良明 (立命館大学産業社会学部)

藤本 慎也 (大学院博士後期課程)

森田 和樹 (大学院博士後期課程)

金 由地 (大学院博士前期課程)

同志社社会学研究 第26号

2022年3月31日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社